



淀川愛好会 YODORIC NEWS

No.72 2015 年 12 月 発行

〈会員の窓 31〉

London と Thames River

熊谷 樹一郎

2014年8月末より1年間の長期海外出張を認めていただき、UCL (University College London: ロンドン大学) のCASA (Center for Advanced Spatial Analysis) に滞在する機会を得ました。

ロンドンと言えば赤色の二階建てバスをイメージされる方も多いと思います。地下鉄 (Tube) 網も大阪や東京都内のように張り巡らされています。これらのバス・Tubeなどの公共交通機関はTfL (Transport for London) が一括管理しており、例えば一枚のICカード (Oyster Card) で自由に乗り、なおかつ、乗車賃もディスカウントされるようなサービスが提供されています。ところで、ロンドン市のほぼ中心を流れるThames RiverではRiver Boat が運行されているのはご存じでしょうか。たくさんの観光客が訪れるロンドンですが、これらのRiver Boatに乗船すれば川面からロンドンの名所を眺めることができ、たいへん人気のある観光コースとなっています。実は、River Boatは観光目的のみならず、バス・Tubeなどと同様に市民の日常的な足ともなっています。複数の運行経路が設定されており、ラッシュ時の通勤・通学の下支えの役割を担っているのです。日本とは異なり、河床勾配が小さいヨーロッパの河川ならではの使い方なのかもしれません。

私がお世話になったCASAでは年に1度、Away Dayというセンター内の親睦イベントを開催していました。やっと天候が穏やかになったせいか7月だから、みんなで外に出て懇親を深めよう、といったところでしょうか。私の在籍中には、上流に位置するHampton Courtからロンドンの中心までの貸し切り・BBQ付きThames River Cruisingがそのメインイベントとして企画されました。Cruisingでは約35kmの行程を2時間程度かけてゆっくりと下っていきます。都心に近づくにつれて周囲の建物群は低層から高層へと変わっていきませんが、川辺には常に高級住宅が建ち並んでいたことが印象的でした。川を愛する心は万国共通なのでしょう。

最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださいました理事長先生、今井前学長先生、森脇学部長先生、頭井学科長先生を初めとする都市環境工学科の先生方にあらためてお礼申しあげます。

(摂南大学理工学部 都市環境工学科教授 地域環境計画研究室)

イベント案内

詳細は 3、4 頁

淀川愛好会 総会・新年会 2016

日時 2016年 1 月 9 日 (土) 18:00~20:00

BY ネット設立10周年記念フォーラム

日時 2016年 2 月 20 日 (土)・21 日 (日)

淀川討論会

日時 2016 年 2 月 27 日 (土)

イベント報告

流域見聞「巨椋池」

9月20日（日）、桂川流域ネットワークの主催で流域見聞「巨椋池」が行われ、国会からも5名が参加しました。午前中は、9時半に京阪電車中書島に集合し、貸切バスで京都外環状線から阪神高速京都線側道、第二京阪道路、京滋バイパスを通過して大山崎インターから国道171号線を北へ向かい、菱川から外環状線、府道13号線、淀大橋を通過して巨椋池排水機場まで休憩なしに、マイクで説明を聞きつつ車窓から周囲を見た後、30分ほど排水機場を見学し、東一口の町並を歩いて、再びバスで久御山町内を南下し、国道1号線沿いの食堂市番で昼食をとりました。午後は八幡東インターから第二京阪道路、京滋バイパスを通過して向島ニュータウン内の図書館で説明を聞いた後、京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーへ向かい、巨椋池流域模型ジオラマを見学するというハードスケジュールでしたが、流域全体の概況がよくわかり、大変勉強になりました。

第5回 川の恵みを活かすフォーラム

10月3日（土）京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーにて川の恵みを活かすフォーラムが行われました。午前の部では淀川アユの見聞として藤掛進先生（京都大学大学院おぼんざい研究会代表）、谷口順彦先生（東北大学・高知大学名誉教授）、東昇先生（京都府立大学文学部准教授）の講演があり、その後淀川・芥川・桂川・木津川・鴨川の各川からの報告がありました。午後の部では川の食味体験会として各川でのアユの食べ比べを行いました。アユ以外にもナマズやコイなども調理し、みんなで美味しくいただきました。コイは初めてでしたが、思っていた以上に美味しく川の恵みを満喫しました。



摂大祭2015

10月10日（土）～12日（月）の三日間摂南大学にて第41回目である摂大祭が開催されました。PBL活動として10日に中間報告会を行い、好評を得ました。エコシビル部は屋内では魚の水槽展示、屋台ではたこ焼きを出店しました。最終日には有名アーティストであるナオト・インティライミさんが出演され、打ち上げ花火で大学祭が終わり、思い出に残るすばらしい三日間でした。

竹蛇籠 製作&設置 講習会

10月17日（土）・18日（日）、京の川の恵みを活かす会およびやましろ里山の会の主催で、木津川玉水橋右岸では竹蛇籠の製作、左岸では設置作業が行われました。竹を縦に四等分に割り柔らかくし、5人1組で8mもの蛇籠を編むことは難しく思いのほか時間がかかりました。職人が蛇籠を編むところを見学し編み方を見て学び、実際に完成させることでチームワークが重要だと感じました。そして、設置では自分たちがつくった蛇籠が水生生物の棲み処になることを実感し、達成感がありました。

第3回 カヌーでつなぐ「琵琶湖・淀川流域圏」

11月21日（土）、22日（日）、23日（月・祝）の三日間、琵琶湖・淀川流域圏連携交流会の主催で、第3回カヌーでつなぐ「琵琶湖・淀川流域圏」～1,450万人・水のえん～が行われました。1日目は笠置から京田辺、2日目は京田辺から寝屋川、3日目は寝屋川から大川（大阪ふれあいの水辺）までという長丁場でしたが、寝屋川と大川では、地元団体の歓迎もあり、参加者はカヌーの醍醐味を満喫しました。ただ、3日間延べ32名と例年に比べて参加者が少なく、今後への課題が残りました。

茨田イチョウまつり

11月23日（月・祝）に、茨田樋遺跡水辺公園にて開催されました。午前中は水路で摂南大学エコシビル部によるEボート乗船、午後はセレモニーから始まり、秋の実りを味わう会としてギンナン飯や蒸かしイモなどが振る舞われました。交流会は、寝屋川市長の飛び入り参加もあり、各団体の活動紹介や古代湖浪漫よしガール「ぽぽくらぶ」の『恋する自然-Loving Nature-』の生歌で盛り上がりました。雨の天気予報でしたが、会が終わるまでなんとか持ち堪えました。参加者はお腹も心も満たされた様子でした。



摂南大学ISO14001定期審査合格

摂南大学では、2015年1月9日に環境に関する国際的標準規格「ISO14001」の認証を取得して以来、初めての定期審査（審査機関：一般財団法人 日本品質保証機構[JQA]）が11月18日（水）から20日（金）の3日間実施されました。定期審査は、摂南大学の環境マネジメントシステムが継続してISO14001の要求事項に適合しているかどうかを審査するものです。

今回の定期審査では、審査対象となった部門において改善指摘事項はなく、適正にシステムが運用・維持されていることが確認され、合格となりました。特に課外活動団体である「エコシビル部」と外部団体「淀川愛好会」との連携による地域環境問題への取り組みや学生（キャンパスクリーンサポーター）による昼休みや放課後のエコ活動（清掃・消灯作業）、大学祭における清掃活動などが“グッドポイント(良い点)”として評価されました。

自分たちの活動がこのような形で評価されて大変うれしく思いました。これからも活動に力を入れ、次世代に繋げていきたいです。

今後のイベント詳細

淀川愛好会 総会・新年会 2016

淀川愛好会の総会・新年会を下記のように企画しました。多数のご参加をお待ちしております。

日時：2016年1月9日(土) 18:00～20:00

会場：酒処かつみ 寝屋川市東大利町4-15

京阪本線 寝屋川市駅から西へ300m

電話番号：072-826-7574

会費：3000円

申込〆切：1月5日(火) 淀川愛好会事務局まで

酒処かつみ



第18回 淀川討論会

淀川愛好会では、恒例の淀川討論会を下記の要領で計画しています。つきましては、多数の皆様のご参加をお願い致します。

日時：2016年2月27日(土) 14:00～17:00(17:00～19:00 懇親会)

場所：摂南大学寝屋川キャンパス コミュニティールーム(13号館2階)

(京阪電車「寝屋川市」駅から京阪バスで約12分または、

JR「茨木」駅・阪急電車「茨木市」駅より京阪バスで約30分。摂南大学下車。外来者駐車場有。)

主催：淀川愛好会

プログラム：

14:00～14:05 挨拶 澤井健二(摂南大学名誉教授、淀川愛好会会長)

14:05～14:50 講演 「淀川河川公園の近況」(仮題)
寺内雅晃(国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所副所長)

14:50～15:00 休憩

15:00～16:30 活動報告 「京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー構内巨椋池流域模型ビオトープ構想」
澤井健二(摂南大学名誉教授、淀川愛好会会長)ほか
「環境用水研究会の動向」 上野裕士(内外エンジニアリング)
「ホテルの飛遊する水辺環境調査(京都市内11か所)」
京都市立伏見工業高等学校 工学探究コース 環境再生班
「摂南大学エコシビル部の活動」、「寝屋川市内の活動報告」ほか

16:30～17:00 討議

なお、討論会終了後、同会場において懇親会(会費3000円)を催します。

参加申し込み：準備の都合がありますので、参加者は2月20日までに下記へお申し込み下さい。

連絡先：淀川愛好会事務局

〒572-8508 寝屋川市池田中町17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 石田研究室内

Tel/Fax 072-839-9125 E-mail ishidai@civ.setsunan.ac.jp

BYネット設立10周年記念フォーラム

琵琶湖・淀川流域圏連携交流会(BYネット)は今年で設立10周年を迎えます。2月20日(土)・21日(日)の二日間にわたって記念行事が行われますので、多数ご参加ください。

日時:2016年2月20日(土)・21日(日)

場所:京都市伏見区、八幡市四季彩館、京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー

内容:1日目 午後2時 京阪電車墨染駅集合 → 琵琶湖疏水墨染ダム → 七瀬川 → 近鉄伏見駅 →(電車)→近鉄桃山御陵前 → 寺田屋 → 伏見港三栖閣門 →(マイクロバス) 四季彩館で懇親会(宿泊もできます)

2日目 京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーセミナー室で記念フォーラム (10時-12時 記念講演及び招待報告、13時-16時 参加団体活動報告)

〈会員の窓 32〉

エコシビル部に入部して

荻谷 彰仁

僕は、摂南大学に入学してから今まで、エコシビル部で様々な活動に参加し、多くのことを学び、多くの経験ができました。ボートを使った活動への興味と、ボランティア活動のような地域の人たちのためになるようなことをしたいという思いから、エコシビル部に入ることを決めました。そんな僕にとって、とても印象に残っている活動は点野拠点整備です。エコシビル部としてその活動に参加するまで、川をきれいにする活動と言えば、寝屋川でも行われているクリーンリバーのように川に落ちているごみを拾い集めることだと思っていました。点野拠点整備に参加し、ねや川水辺クラブや河川レンジャーのご指導のもと外来植物の伐採をして、川のために行う活動がごみを拾うだけでなく、河川敷の外来植物を駆除し、在来植物を守るという活動があることを初めて知りました。また、僕にとって点野拠点整備は、このような活動が点野だけでなくほかの場所で行われているのか、そこでどのような工夫をしているのかという興味が広がった活動でもあります。

一回生の頃から一生懸命エコシビル部の活動を頑張ってきました。僕はエコシビル部で活動することが好きで、エコシビル部の活動の良さ、親水活動の良さをもっといろんな人に知ってもらえるように、これからも活動を頑張りたいと思います。

(摂南大学 理工学部生命科学科2回生・エコシビル部新部長)

編集後記

京大防災研・宇治川オープンラボラトリー構内に、澤井本会会長(摂南大学名誉教授)を中心に、石田摂南大学準教授、石田研究室の卒研究生、摂南大学エコシビル部部員、近隣の篤志家らの協力によって「巨椋池およびその周域」の往年の姿(縮尺200分の1)が再現されつつあります。11月10日、その“The Sawai's Dream World”に、茶の木、テンダイウヤク(天台烏薬)およびジャノヒゲ(蛇の髭)を数株ずつ、今堀本会副会長、邑田先生(摂南大学薬学部附属薬用植物園)、山根会員(元摂南大学教授)らと植えました。これらが新天地でスクスクと育つことを願っている時に朗報が届きました。

摂南大学が、日本品質保証機構の国際的標準規格「ISO14001」に関する定期審査において、“合格”しました。その中で、エコシビル部と本会との連携による地域環境問題への取り組み、学生たち(Campus clean supporter)による昼休みや放課後を利用したエコ活動(清掃&消灯作業)、大学祭における清掃活動などが、“グッド・ポイント”として評価されたことです。皆さんと万歳したいね!

編集長 相本太刀夫(元摂南大学薬学部教授)

淀川愛好会事務局:〒572-8508寝屋川市池田中町17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 石田研究室内

TEL/FAX : 072-839-9125

HP : <http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric>

E-mail: ishida@civ.setsunan.ac.jp
